

各交通モードの年度別輸送実績

九州運輸局
令和2年8月25日

九州運輸局管内の輸送実績の動向

- 令和元年度の輸送実績は、ゴールデンウィークが10連休であったこと、外国人入国者数が過去最高レベルであったこと等から **上半期は好調** であったが、 **下半期は日韓関係の悪化や新型コロナウイルス感染症の影響** もあり、 **通年としては前年度と同水準又は微減** であった。
- 特に貸切バス事業やタクシー事業は、日韓関係の悪化や新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、減少幅が大きい。また、旅客船事業は、近年、好調な観光産業やモーダルシフトを進める物流産業に支えられ旅客、自動車ともに増加トレンドにあったが、令和元年度は利用減に転じた。
- なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う移動自粛の本格的な影響は、令和2年度の数値から現れる見込み。

バス事業（一般乗合バス）

4.31億人

（前年度比97.9%）

鉄軌道事業（全体）

6.83億人

（前年度比100%）

旅客船事業（長距離フェリー航路）

157万人、120万台

（前年度比96.0%、98.0%）

タクシー事業

1.49億人

（前年度比93.0%）

鉄軌道事業（JR九州）

3.38億人

（前年度比99.7%）

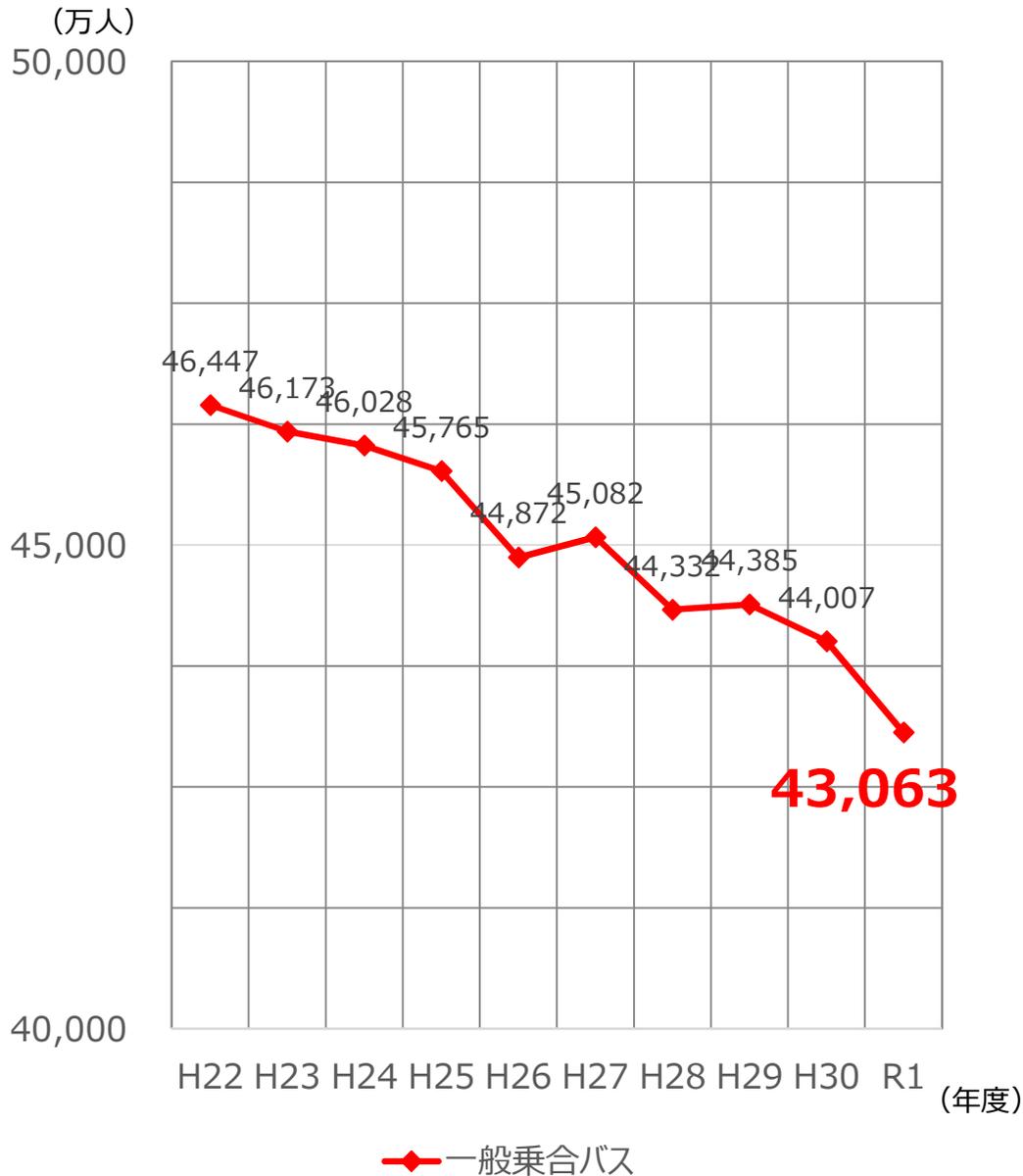
旅客船事業（主要離島航路）

327万人、25.4万台

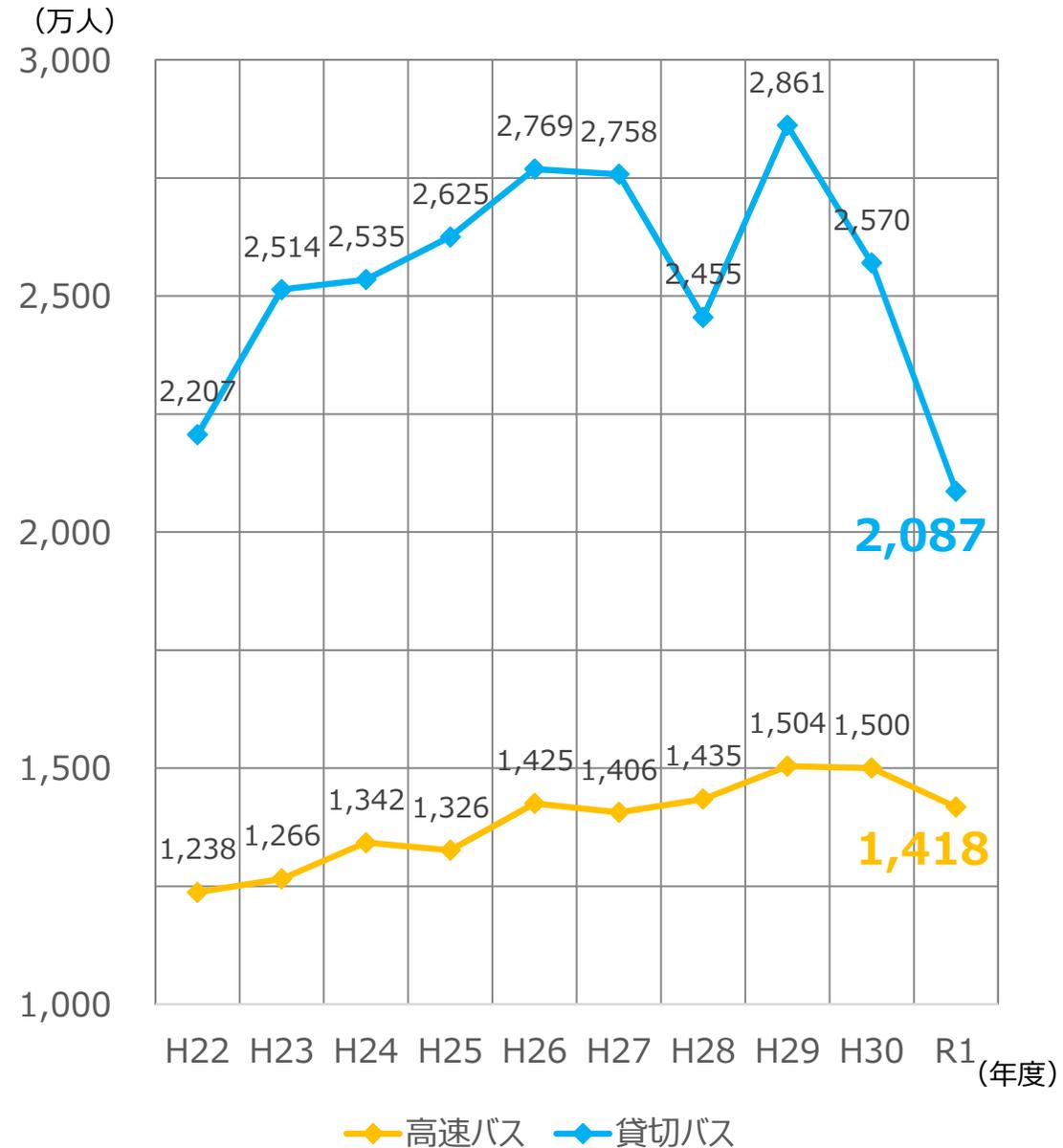
（前年度比96.1%、98.1%）

九州のバス事業の輸送実績

一般乗合バス

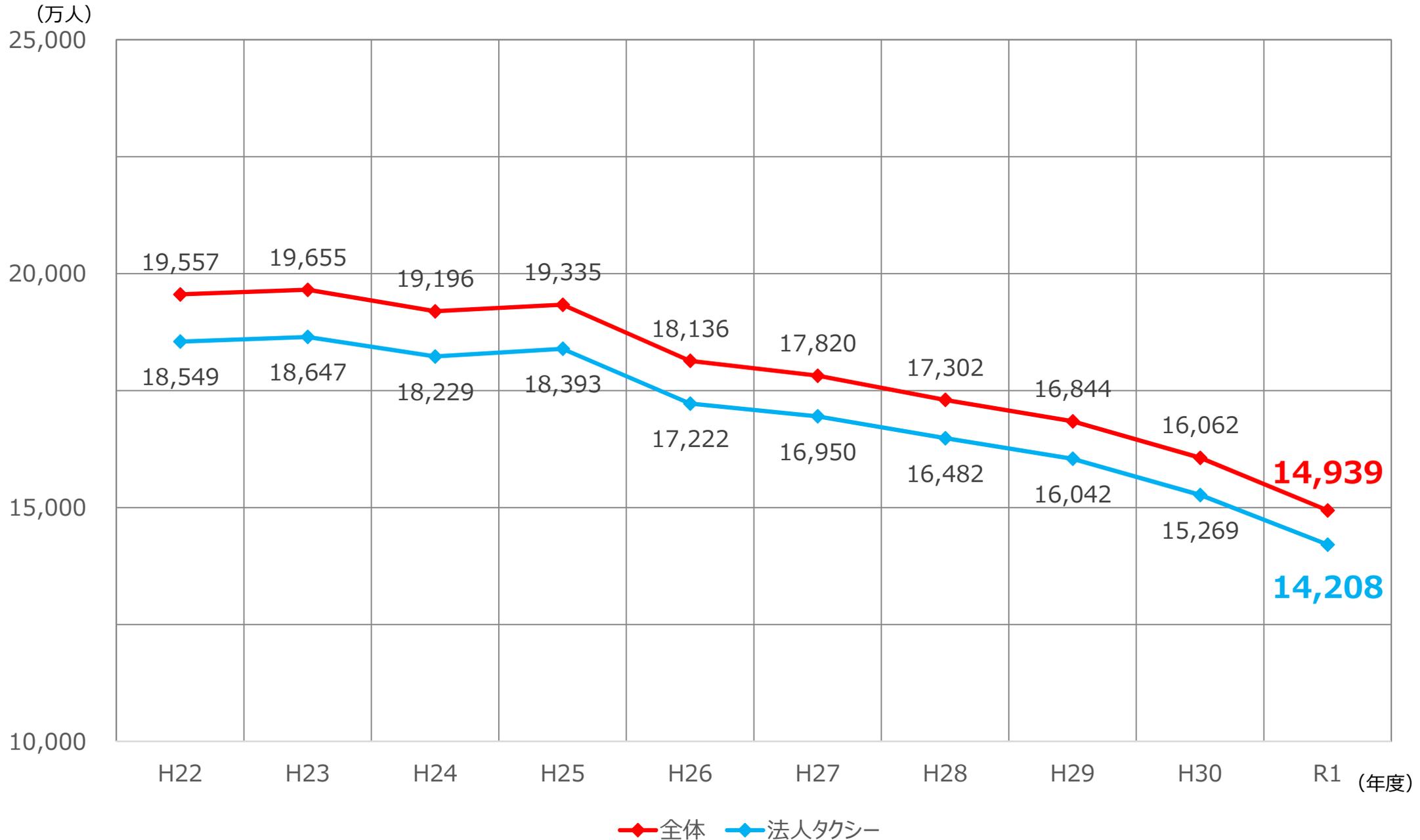


高速バス、貸切バス



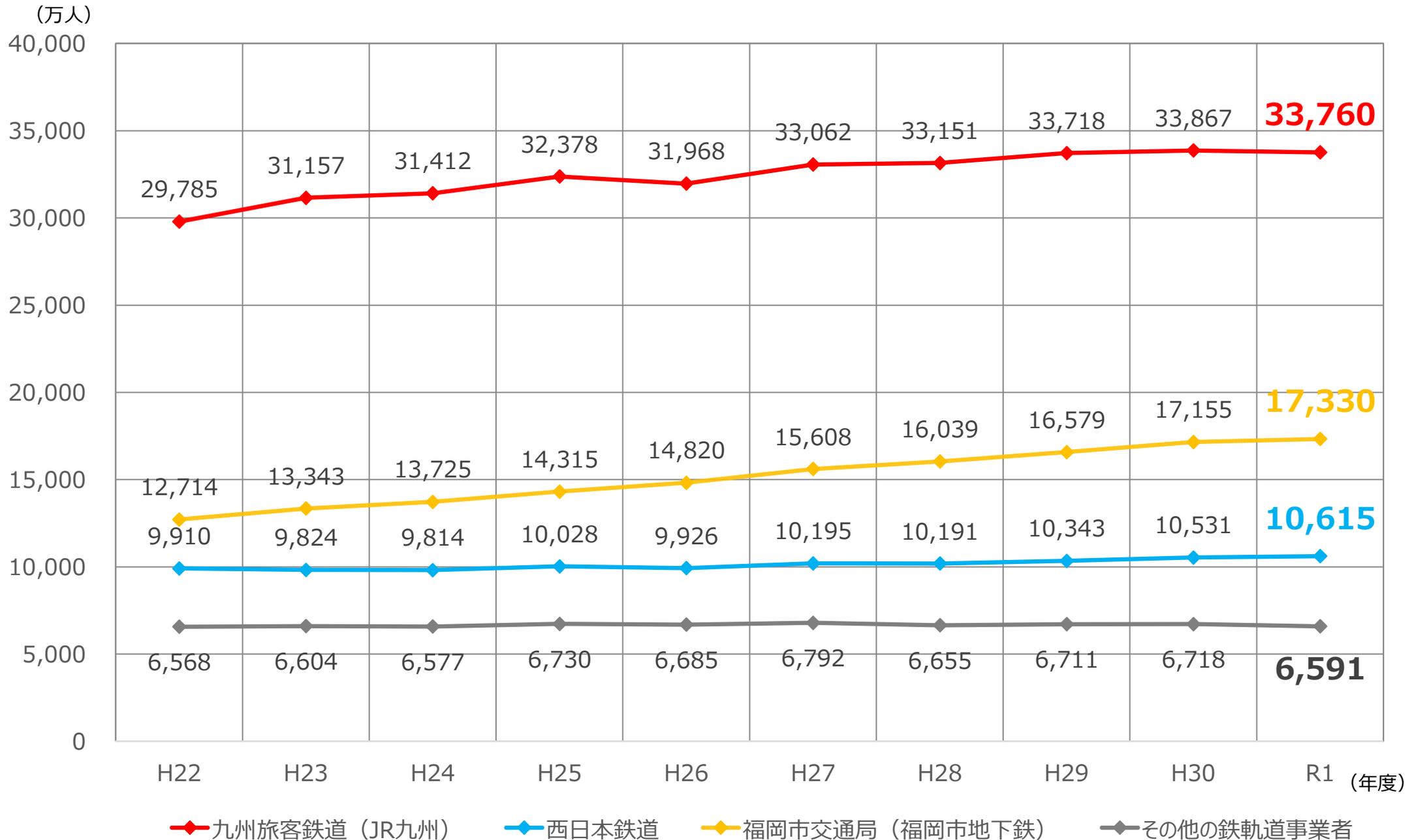
※ 「一般乗合バス」とは、路線バスのうち、高速バス（高速道路を利用して、概ね50km以上走行するもの）を除いたもの。

九州のタクシー事業の輸送実績



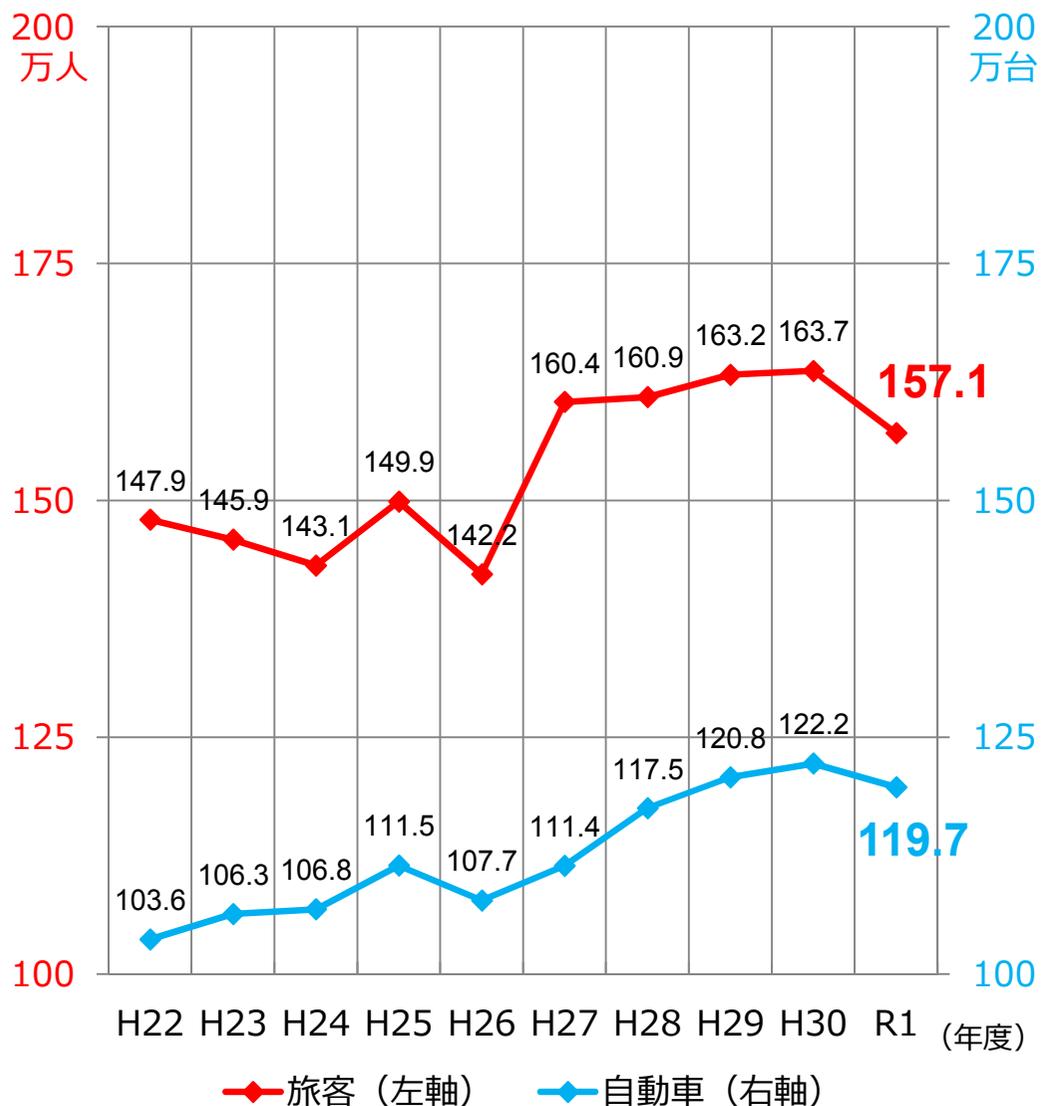
※ 「全体」には、法人タクシーの輸送実績のほか、いわゆる「個人タクシー」の輸送実績を含む。

九州の鉄軌道事業の輸送実績

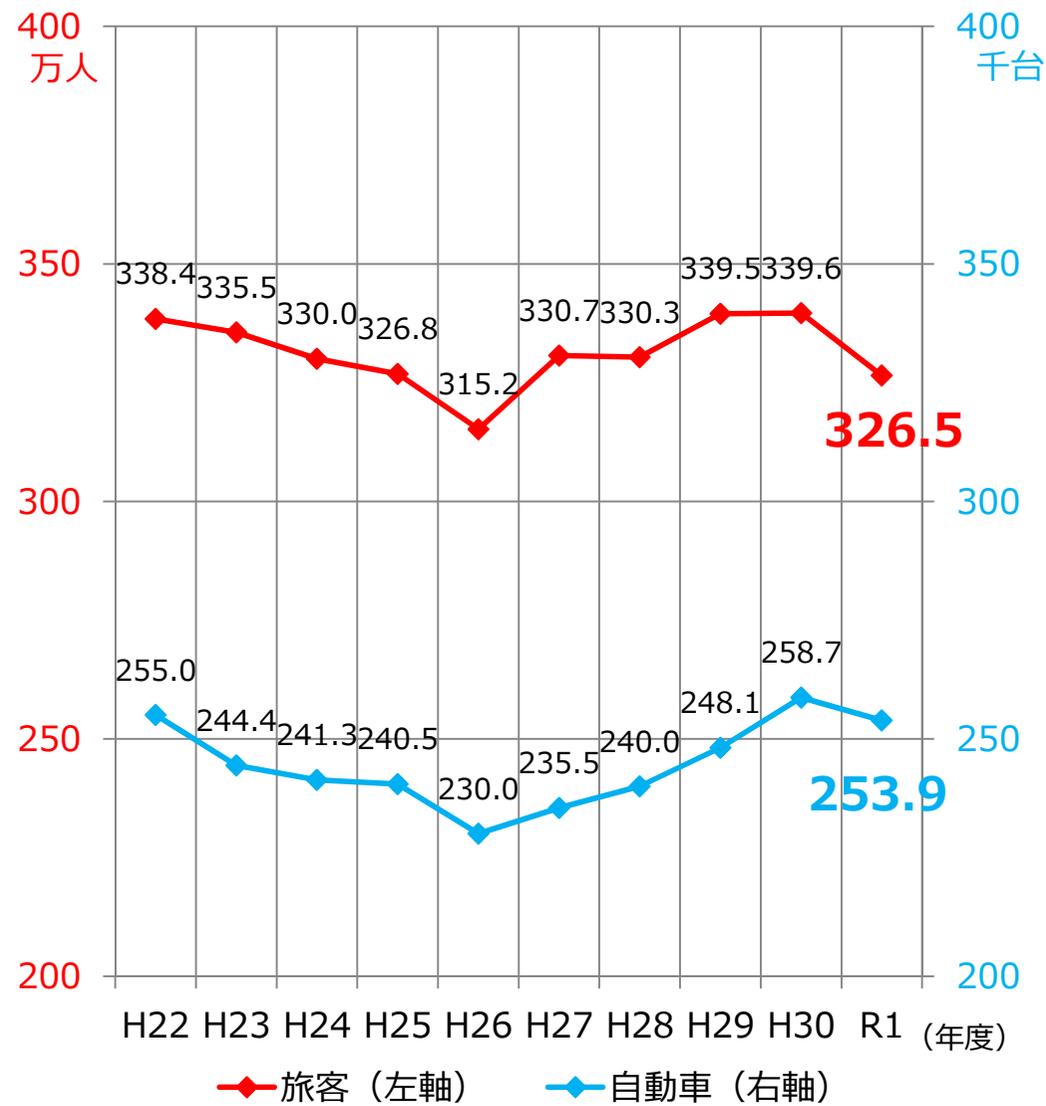


※ 「その他の鉄軌道事業者」とは、次の13社の合計値。(筑豊電気鉄道、島原鉄道、熊本電気鉄道、甘木鉄道、南阿蘇鉄道、松浦鉄道、平成筑豊鉄道、くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道、北九州高速鉄道、長崎電気軌道、熊本市交通局、鹿児島市交通局)

長距離フェリー航路



主要離島航路



※ 「長距離フェリー航路」とは、陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーで片道の航路距離が300km以上の航路をいい、阪九フェリー、名門大洋フェリー、オーシャントランス、フェリーさんふらわあ及び宮崎カーフェリーの5社8航路が該当。

※ 「主要離島航路」とは、杵岐、対馬、五島列島、甕島、種子島、屋久島、奄美群島又は沖縄本島と本土を結ぶ航路をいい、13社18航路が該当。



令和2年8月25日

長距離フェリーは、旅客・車両共に5年ぶりに減少 主要離島航路は、旅客3年ぶり・車両5年ぶりに減少

～令和元年度 輸送実績～

長距離フェリー航路

(別紙1参照)

➤ 令和元年度輸送実績

- ① 旅客：157万0,904人(前年度比 4.0%減少)
- ② 車両：119万7,182台(前年度比 2.0%減少)

➤ 輸送実績の概要

ゴールデンウィークが10連休であったことや、各事業者の企画商品販売が好調だったこともあり、上半期は旅客・車両ともに前年を上回っておりましたが、下半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響等を受け、旅客・車両ともに前年度を下回り、令和元年度全期は、旅客が前年度比96.0%、車両が前年度比98.0%となりました。

主要離島航路

(別紙2参照)

➤ 令和元年度輸送実績

- ① 旅客：326万5,028人(前年度比 3.9%減少)
- ② 車両：25万3,881台(前年度比 1.9%減少)

➤ 輸送実績の概要

概ね前年並みで推移していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和元年度全期の旅客は前年度比96.1%、車両は前年度比98.1%となりました。

<お問い合わせ先>

九州運輸局 海事振興部 旅客課 池田、矢部
TEL：092-472-3155 FAX：092-472-3301

運輸と観光で九州の元気を創ります



News Release

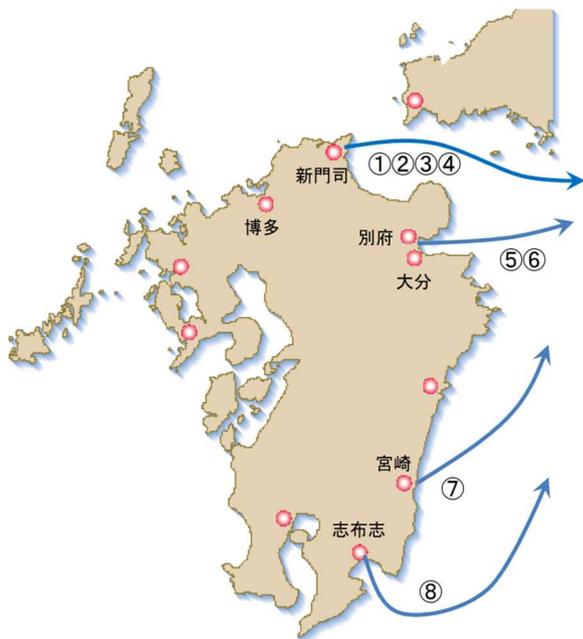


国土交通省九州運輸局

長距離フェリー航路実績資料 <別紙1>

「長距離フェリー」

陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーで、片道の航路距離が300 km以上の航路をいう。全国には8社11航路があり、その内5社8航路が九州に発着している。



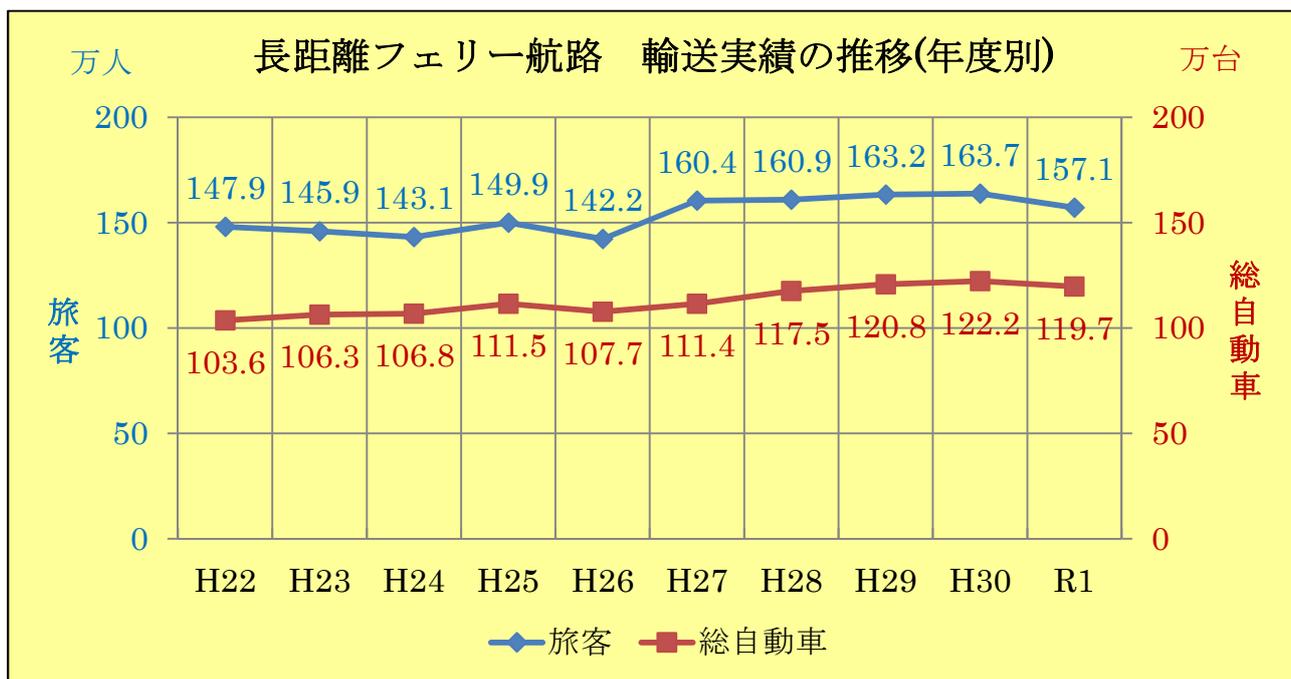
令和2年4月1日現在

事業者名	航路名	就航船	運航回数
① 阪九フェリー(株)	新門司～神戸	2隻	1往復/日
② 阪九フェリー(株)	新門司～泉大津	2隻	1往復/日
③ 株名門大洋フェリー	大阪～門司	4隻	2往復/日
④ オーシャントランス(株)	北九州～徳島～東京	4隻	1往復/日
⑤ 株フェリーさんふらわあ	大阪～別府	2隻	1往復/日
⑥ 株フェリーさんふらわあ	大分～神戸	2隻	1往復/日
⑦ 宮崎カーフェリー(株)	宮崎～神戸	2隻	1往復/日
⑧ 株フェリーさんふらわあ	大阪～志布志	2隻	1往復/日
5社	8航路	20隻	

令和元年度 長距離フェリー航路区間別 輸送実績

	旅客(人)	前年度比	総自動車(台)	前年度比	乗用車(台)	前年度比	バス(台)	前年度比	トラック(台)	前年度比
北九州～阪神	810,808.0	96.4%	621,380	98.5%	249,628	98.7%	2,425	91.8%	369,327	98.3%
中九州～阪神	382,036.0	95.1%	186,004	100.9%	55,740	97.2%	440	64.7%	129,824	102.8%
南九州～阪神	335,029.0	94.6%	229,947	95.3%	92,223	94.3%	614	98.2%	137,110	95.9%
小計	1,527,873.0	95.7%	1,037,331	98.2%	397,591	97.5%	3,479	88.1%	636,261	98.7%
北九州～京浜	43,031.0	108.7%	159,851	96.6%	62,738	96.3%	125	92.6%	96,988	96.9%
合計	1,570,904.0	96.0%	1,197,182	98.0%	460,329	97.3%	3,604	88.3%	733,249	98.4%

(注) 1. 「旅客」は、小人1名を0.5名として計上した。





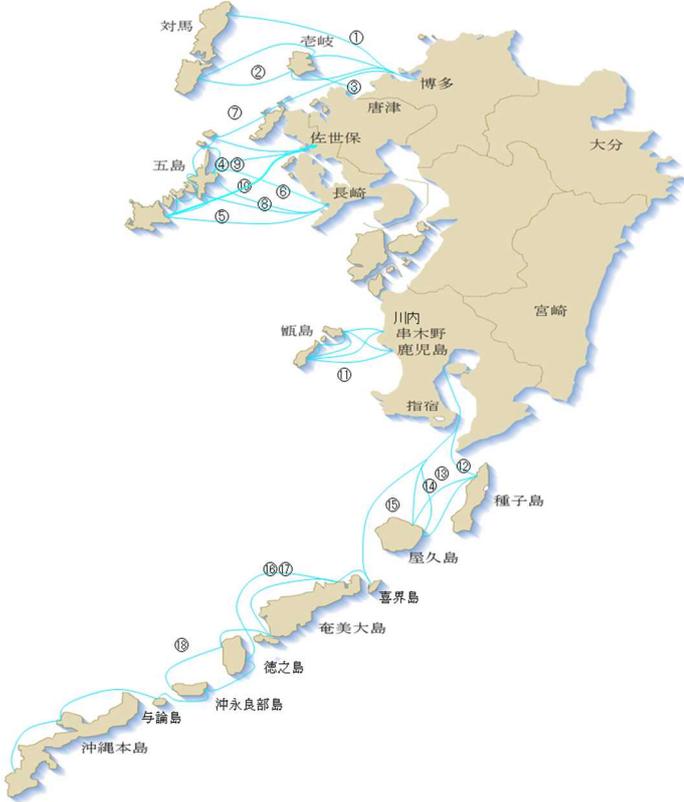
主要離島航路実績資料

〈別紙2〉

「主要離島航路」

九州の離島には87の一般旅客定期航路が開設されている。そのうち吉岐・対馬、五島列島、甑島、種子島、屋久島、奄美、沖縄と本土を結ぶ航路を主要離島航路といい、13社18航路が運航している。

令和2年4月1日現在



離島名	事業者名	航路名
吉岐島 対馬島	① 九州郵船株	博多～比田勝
	② 九州郵船株	博多～吉岐～対馬
	③ 九州郵船株	印通寺～唐津
五島列島	④ 九州商船株	佐世保～上五島
	⑤ 九州商船株	長崎～五島
	⑥ 九州商船株	長崎～有川
	⑦ 野母商船株	福江～青方～博多
	⑧ 五島産業汽船株	鯛之浦～長崎
	⑨ 株五島産業汽船	有川～佐世保 休止(平成30年10月～休止)
	⑩ 株五島産業汽船	福江～佐世保 休止(平成30年10月～休止)
甑島	⑪ 甑島商船株	串木野・川内～甑島
種子島 屋久島	⑫ コスマライン株	鹿児島～種子島・屋久島
	⑬ 種子屋久高速船株	鹿児島～種子島・屋久島
	⑭ 岩崎産業株	鹿児島～種子・屋久
	⑮ 折田汽船株	鹿児島～屋久島
奄美 沖縄	⑯ マリックスライン株	鹿児島～那覇
	⑰ マルエーフェリー株	鹿児島～那覇
	⑱ 奄美海運株	鹿児島～喜界～知名
合計	13社	18航路

	旅客(人)	前年度比	総自動車(台)	前年度比	乗用車(台)	前年度比	バス(台)	前年度比	トラック(台)	前年度比
本土～吉岐・対馬	948,293.0	97.9%	84,808	103.0%	46,483	103.4%	709	105.2%	37,616	102.4%
本土～五島列島	1,082,106.5	97.1%	57,827	95.0%	37,583	95.0%	308	150.2%	19,936	94.5%
本土～甑島	176,634.0	94.4%	22,191	100.0%	14,132	98.2%	216	127.1%	7,843	103.0%
本土～種子・屋久	762,410.5	94.9%	34,944	93.4%	23,106	91.6%	108	110.2%	11,730	97.0%
本土～奄美・沖縄	295,583.5	91.5%	54,111	96.9%	29,499	94.5%	199	209.5%	24,413	99.4%
合計	3,265,027.5	96.1%	253,881	98.1%	150,803	97.1%	1,540	124.0%	101,538	99.4%

(注) 1. 「旅客」は、小人1名を0.5名として計上した。

